

# 第三十八回フオト旬会優秀作品(26年3月10日)

## 自由題



一夜明け都会美人の

薄化粧 池田 隆

寸評：またまた傑作の登場である。雪景色の東京の街の彼方に朝日に映える高層ビル。極上のTPOをモノにされた上、「都会美人の薄化粧」との洒落た表現に脱帽。



山畑に 匠の技が

朽ちてゆく 大月 和彦

寸評：昔の風呂桶。精密に仕上げた板を組み合わせ箍(たが)で締め付けただけで、大量の貯水ができるまさに匠の技だが、桶造りの職人も消える運命にある。

診療所 葬儀屋と寺

ワンセット 中村 晃也

寸評：九品仏の駅にある看板。人生の末期に必要な施設がすべて至近距離にあるのは確かに有り難いが、情けない気がするのも事実





誰にでも他人（ひと）の  
知らない顔がある 三 春  
寸 評：人間の感情は複雑で通常  
の表情とは全く別の、自分でも知  
らない顔があるという。作者も  
腹のなかではこんな顔で人に対し  
ているのかも。

### 今月の新人作品

あなた好き！墓石になっても  
抱きしめちゃう 清水 勝  
寸 評：有望な新人が現れた。  
声の大きいのと会計だけが特徴と思  
っていたが、フォト句にも才能があ  
ることを自ら証明した。画像の女の  
子が可愛い。私も墓石になりたい。



清水さんの今後のご健闘に期待しましょう。

### 先月のお題写真



## 付け句

- 1) 恐ろしい病気うつると言いそびれ 大月 和彦
- 2) どのボタン押せば卵が出るのかな ? 中村 晃也
- 3) おねがい！ヤキトリなんかにしないでね 矢沢 正二
- 4) 軍鶏の奴女の子には首締め 池田 隆
- 5) ぬくもりと鼓動をキャッチ生命知る 大月 和彦
- 6) 童女とて雄鶏押さえしたり顔 安藤 晃二

今月は中村さんの「子供動物園でのスナップ」を主題にしたお題写真でした。女の子の可愛い表情が印象的です。

寸評：

- 1) 鳥といえばインフルエンザを警戒したくなるのが親心。でも喜んでいる娘にはチョット言いそびれる心情がよく分かります。
- 2) 本物の生き物を初めて触ってみたが、普段親しんでいるオモチャの感覚。
- 3) こんな可愛い動物を食べるなんて、人間は残酷です。
- 4) 普段は喧嘩っ早い軍鶏も女の子に押さえられて首を縮めるだけ。
- 5) 初めて鶏に触れてみて、体温と鼓動を感じた驚きと感激。  
生命を実感した瞬間。
- 6) 女の子でも雄鶏を捕まえられるのよとのしたり顔。でも最近はお男の子のほうが意気地がないのでは？

同じ写真でもいろいろな着眼点から異なった句ができます。今月は特に大月さんが、1) や5) のような独自の観点からの句を出されたのに感心しました。

以上